

令和7年度 活動報告書

福井市ナッジ・ユニット

目次

1	福井市ナッジ・ユニットの紹介	2
	こんな活動しています！	

2	令和7年度の実績結果	9
----------	-------------------------	----------

事例①…自治会加入の促進

事例②…福井駅での押しチャリ促進

事例③…カスハラ防止

事例④…市民意識調査の回答促進

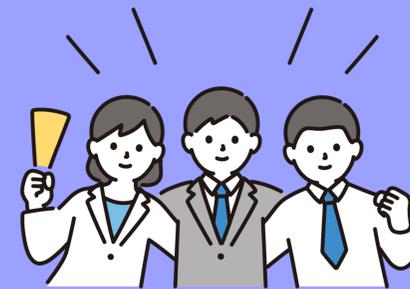
事例⑤…下水道利用ルールの周知

事例⑥…特別展チラシの周知

1

福井市ナッジ・ユニットの紹介

こんな活動してます！



福井市ナッジ・ユニットの概要

設 立：令和5年4月

人 数：8人 ※R8.3.1時点

…ナッジに関心をもつ若手・中堅の職員有志で結成

…多様な部署メンバーで構成

企画、福祉、水道、住宅、商工

目 的：組織内へのナッジ普及促進

…市民サービスの向上＋人材育成

1. 福井市ナッジ・ユニットの紹介

主な活動

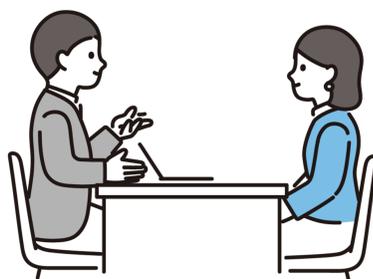
① 情報発信

…「ナッジ通信」の発行



② 相談支援

…ナッジ相談への伴走



相談支援の様子



- ・行動経済学
 - ・デザイン思考
 - ・データ分析
- を活用

③ 人材育成

…職員研修会の開催



職員研修の様子



研修を機に
ナッジ相談に
つながった
事例も！

チーム結成の経緯



届け、熱量。

- ▶ 自らの言葉で市長に提案できるチャンスは、チャレンジみらい予算だけ
- ▶ チャレンジみらい予算の事業経費は、シーリングの対象外
- ▶ チーム提案では、所属を超えた仲間と力を合わせてチャレンジ

若手職員による事業提案制度

チャレンジみらい予算

を活用！

制度の特徴

- 若手職員による新しい価値観や柔軟な発想に基づく事業提案を積極募集
- 個人orチームどちらでも提案可
- 市長に直接提案できる
- 予算シーリングの対象外

活動時間の継続的な確保

福井市には、勤務時間の20%以内を
担当外業務に充てることのできる

福井市版20%ルール

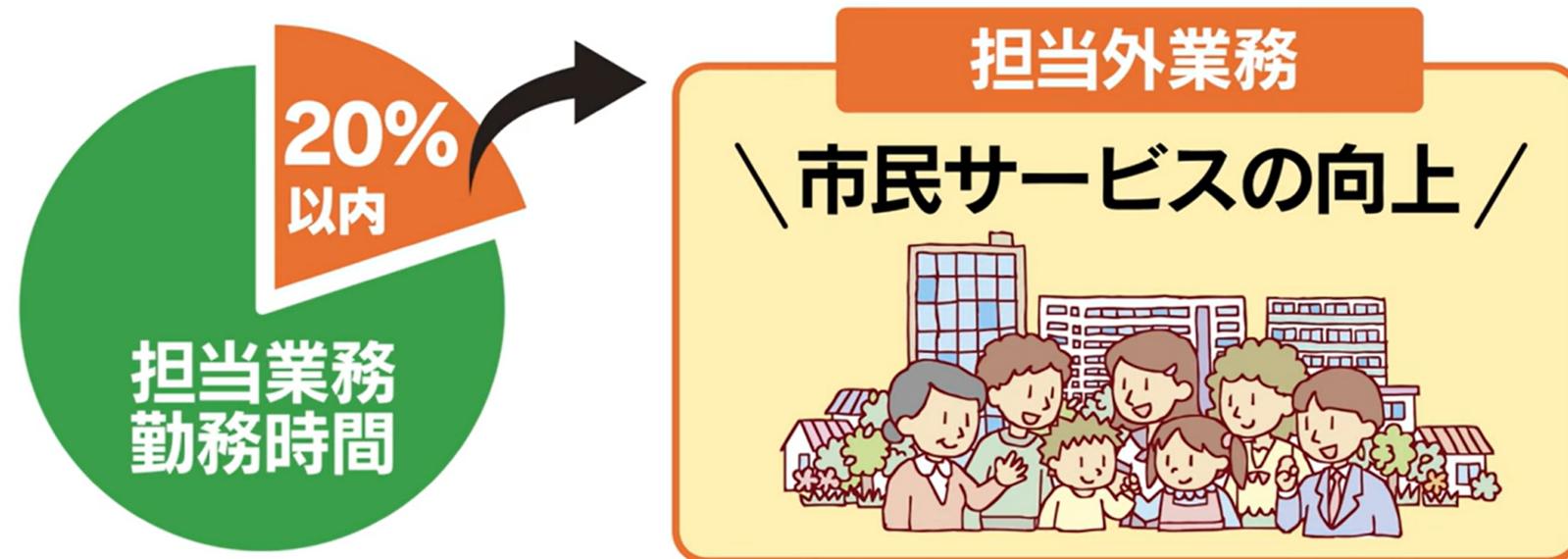
を活用！(R6.9開始)

制度の特徴

- 組織間の垣根や担当業務にとらわれることなく、職員の活動意欲や専門性等を最大限発揮するための制度
- 制度利用を希望する職員は所属長の許可を得て活動に従事する
- 既存の業務のみならず、新たな課題を設定し、チームで活動することも可能

福井市版20%ルール

自分の持っているスキルなどを他部署の業務に役立てることができるルール



活動実績

令和6年度 ベストナッジ賞 (環境大臣賞) R6.6月受賞



大阪大学 「ナッジと公共政策 特別公開ワークショップ2025」 優秀ポスター賞 R7.3月受賞



活動実績

■全国的な人材育成の取組

自治体職員向けセミナー(本市主催)の受講者満足度



- テーマ
ゲーミフィケーション
- 開催日
令和8年1月20日
- 受講者
220名

セミナー受講者数

延べ **2,080** 人
(R5~R7累計)

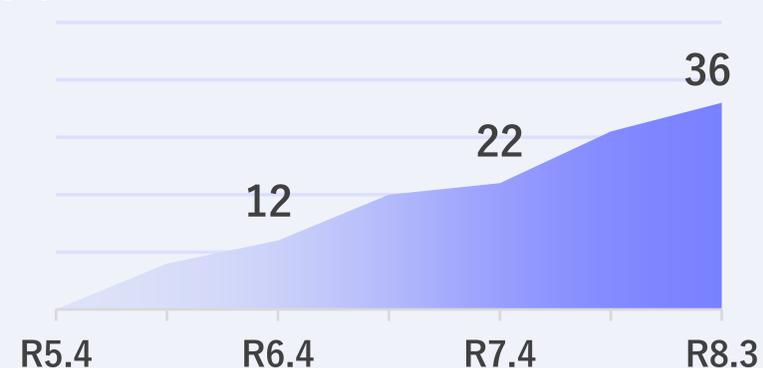
セミナー登壇回数

計 **25** 回
(R5~R7累計)

■福井市での事例創出

ユニットが支援した件数

[件]



計 **36** 件
(R5~R7累計)

ナッジに触れた市職員数

(ナッジ相談者数及びセミナー受講者数の合計)

延べ **333** 人
(R5~R7累計)

ナッジ通信発行回数

計 **26** 回
(R5~R7累計)

2

令和7年度の取組結果

2

R7取組結果

2. 令和7年度の取組結果

事例一覧

事例名称	ナッジの概要
①自治会加入の促進	自治会の加入を促す
②福井駅での押しチャリ促進	福井駅周辺の自転車押し歩き区域における「押しチャリ」を促す
③カスハラ防止	職場でのカスタマーハラスメントの防止を促す
④市民意識調査の回答促進	男女共同参画に関する市民意識調査のネット回答率を促進する
⑤下水道利用ルールの周知	下水道が詰まる原因となる「流してはいけないもの」の周知をはかる
⑥特別展チラシの周知	特別展の広報チラシを改善し、来場者の増加につなげる



詳細は福井市HPにて紹介

2. 令和7年度の取組結果

①自治会の加入促進



現状・課題

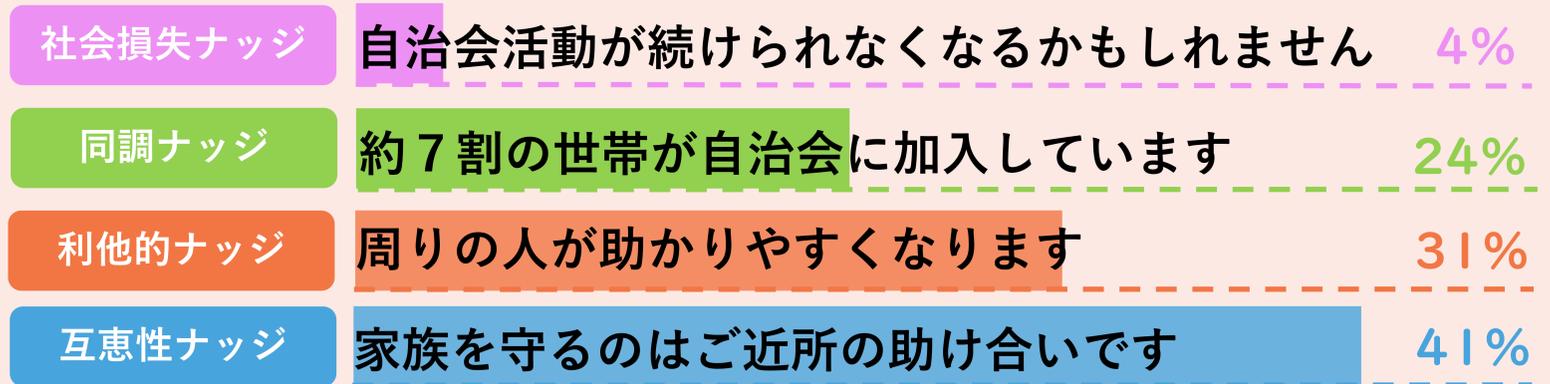
- 福井市では自治会加入率が年々低下し現在約70%となっており、加入減により地域行事や見守り活動、災害時の助け合いが続けにくくなるなど、地域の安心・安全が損なわれつつある。
- そこで大阪大学の学生団体「大阪大学行動経済学研究会」と共同して、行動経済学の知見を活用し、自治会への加入促進を目的とした啓発ポスターの制作に取り組んだ。

事前検証

市職員対象アンケート (N=327)

※メッセージは一部抜粋

「どのメッセージが自治会加入率を高めるか？」



互惠性ナッジを使ったメッセージが最も効果的と特定

ナッジ実践

ポスターを大阪大学と共同制作

- 多くの人の共感を得た 互惠性ナッジを採用
- 助け合いを想起させる 4コマ漫画
- 自治会加入の意思表示を オンライン化



実践者の声

学生がプロジェクトに加わることで勢いが生まれました！今回学んだナッジの視点を、今後も様々な場面で活かしていきたいです。



地域振興課 朝日副主幹・吉田主査

2. 令和7年度の取組結果

② 福井駅での押しチャリ推進



現状・課題

- 新幹線開業に伴い観光客が増加している中、福井駅周辺における自転車押し歩き区域（歩行者専用空間）での乗りチャリが安全上の問題となっている。
- 現状の押しチャリ率は約67%であり、3人に1人がマナー違反の状態となっているため、ナッジを活用して押しチャリ率の向上に取り組んだ。

ナッジ実践

福井大学（福井大学大学院工学研究科経営・技術革新コース竹本研究室 チーム福井市）と**協働**で**施策**を**考案・実施**

足音効果音



歩行音を再生

押し歩き看板



自転車を押し歩きしている看板を設置

足跡&タイヤ痕



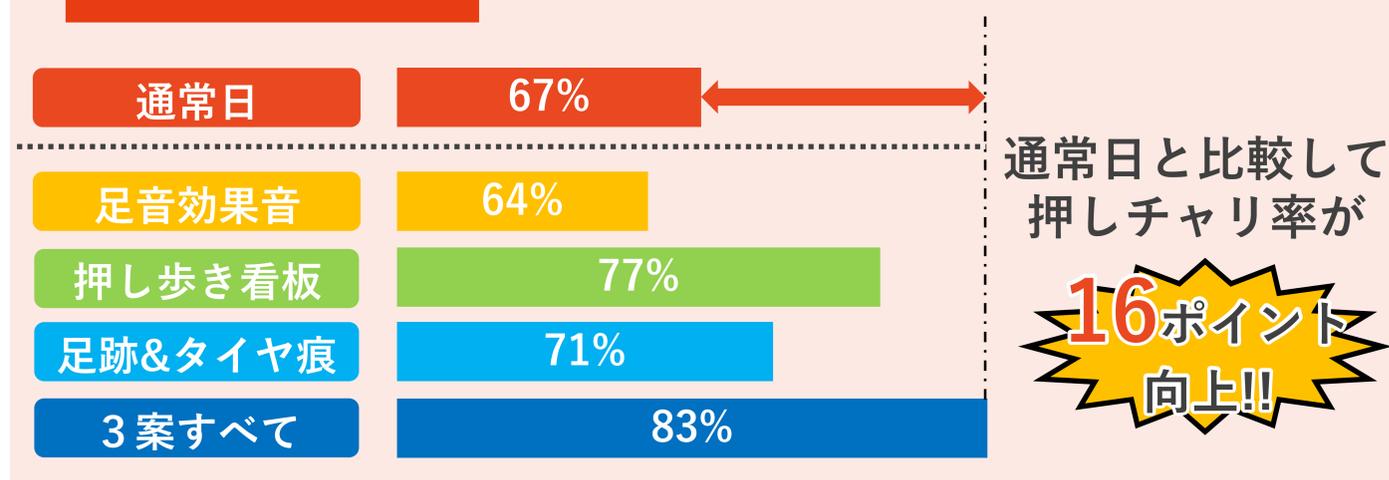
足跡とタイヤ痕を設置

Social

Attractive & Social

Attractive

効果



実践者の声



都市整備課
山田主事

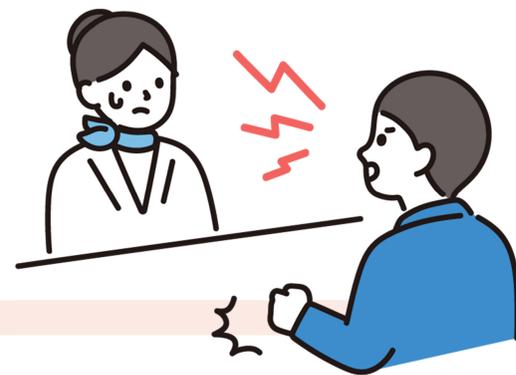
福井大学の学生チーム協力のもと、ナッジを活用したユニークなアイデアの考案、社会実験、有効性の認められたアイデアの実装を行いました。今後は、本実装後における効果の持続性などの検証も実施していきたいです。



詳細は福井市HPにて紹介

2. 令和7年度の取組結果

③カスハラ防止



現状・課題

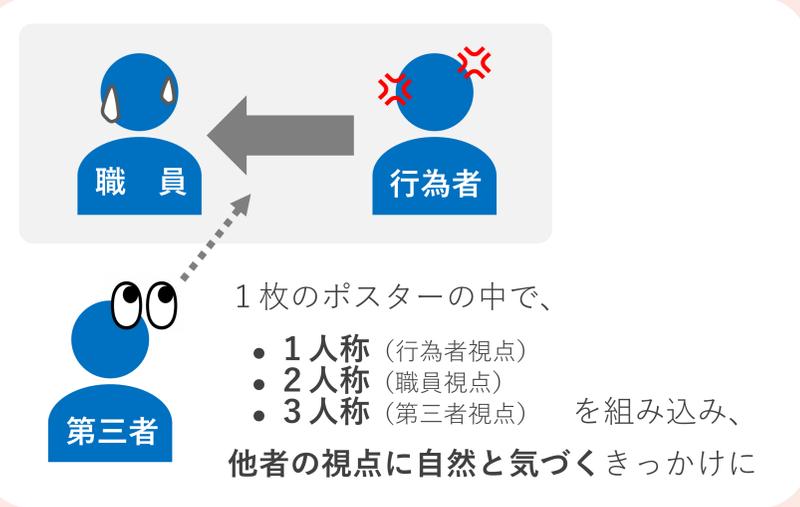
- 近年、カスタマーハラスメント（カスハラ）が社会問題化しており、ハラスメントにより業務の停滞や心身への悪影響を招くことが課題となっている。
- 職員が安心して働ける環境づくりを目的として、ナッジ理論を活用した啓発ポスターの制作に取り組んだ。

ナッジ実践

カスハラ行為者の**行動心理**に着目した**ポスター**を制作

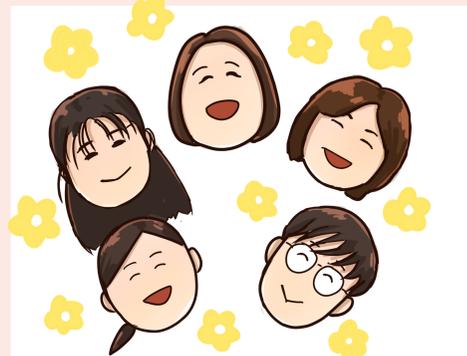


デザインのポイント



ナッジ活用のポイント

- 禁止・否定メッセージは使わない
- | | |
|----|--------------------------------------|
| 従来 | 「STOPカスハラ」などの禁止・否定的メッセージで「カスハラ=悪」を強調 |
| 今回 | 「あなたの行動が暴言に聞こえているかも」など自発的な気づきを促す表現 |



実践者の声

単に禁止するのではなく、相手の気持ちにも寄り添いながら、自然と思いやりある行動を促すことで、お互いを尊重し合える環境が広がっていくことを期待しています。

福井市版20%ルール活動メンバー：園芸センター 福田技師(デザイン) 総合政策課 梅田主査(ナッジ) 安全衛生室 松宮室長 北川副主幹 大谷副主幹

2



2. 令和7年度の取組結果

④ 市民意識調査の回答促進

現状・課題

- 次期男女共同参画基本計画の策定に向けて、市民の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の施策に反映させることを目的に、アンケート調査を実施する。
- 全体回答率の向上と回答の集計作業に係る時間コスト削減のため、インターネットでの回答を促進すべく、ナッジ理論を活用したチラシの改善等に取り組んだ。

ナッジ実践

インターネット調査チラシを改善

前回

共同参画に関する福井市民意識アンケート調査に御回答いただく皆様へ
インターネットなら簡単に回答できます！
以下の「Step 1」から「Step 3」の手順によりアンケートにお答えください。（※身元確認のため）
※インターネット調査は、福井県選挙管理委員会「らくえんネット」を利用しています。

Step 1 パソコンまたはスマートフォンからアンケートページにアクセスしてください。
ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に以下【アンケートのURL】をすべて
入力するか、QRコードの読み取りにより、アンケートページにアクセスしてください。

【アンケートのURL】
https://shinsei-e-fukui.jp/040ca1j

【QRコード】

※QRコードの読み取りには、読み取りアプリが必要です。

Step 2 調査票に「アンケートID」を入力し、アンケートに御回答ください。

【アンケートID】
※個人を特定するものではありません。
997543

※調査を始めて6分が経過してもページ移動がないとタイムアウトします。
お時間がかかる場合は、ページ下の「一時保存」ボタンを押して保存してください。

Step 3 アンケート入力後、確認の上送信してください。

アンケートの入力は以上です。お力添えありがとうございました。

【お問い合わせ】 福井市 総務部 未来づくり推進局
女性活躍促進課
TEL 20-5353

今回

男女共同参画基本計画改定中！
市民意識アンケート
ご協力をお願いします

アンケート実施期間
2025.9.30※まで

※二次コードを読み取り、リンク先からご回答ください。
※個人が特定されたり、ほかの目的で利用されることはありません。
※アンケート最終結果は、ホームページで公開します。

https://shinsei-e-fukui.jp/040ca1j

【お問い合わせ】 福井市 女性活躍促進課 20-5353 jousei@city.fukui.lg.jp

●内容を簡素化

- ・文字数を削減
- ・アンケートIDを入力不要に
- ・二次元コードを大きく読み取りやすく

●アイキャッチ

- ・イラスト等を使用し、チラシ全体の雰囲気をもっとポップにして、回答のハードルを下げる

送付内容を簡素化

●“インターネット調査”のみに

前回

- 封筒に3種類同封
- 紙調査アンケート・返信用封筒
- インターネット調査チラシ

確認するものが多い…

今回

- 封筒にはインターネット調査チラシのみ

確認するものを1つに



女性活躍促進課
野坂主査 川畑主幹

実践者の声

案内をシンプルにしたことで、電話問い合わせがほぼゼロになりました。紙との併用をやめた結果、資源の節約と正確なデータ収集が実現。集計の手間が省けた分、本来の分析作業にしっかりと時間を割くことができました。

2

R7取組結果



2. 令和7年度の取組結果

⑤ 下水道利用ルールの周知

現状・課題

- 紙オムツや生理用品等をトイレに流してしまうことで、下水道が詰まることがある。
- 市民への周知を目的として、過去に広報誌「上下水道のミカタ」に記事を掲載したが、あまり効果がみられず、改めてナッジの手法を活用した掲載記事の作成に取り組んだ。

ナッジ実践

上下水道の広報誌の記事を改善

前回



詰まるものを流すとポンプなどが故障します

今回

①



②

家庭の排水管や下水道のポンプに異物がつまると
家庭や道路で汚水があふれるおそれがあります

ナッジ活用のポイント

- ① 具体的な行動を促す
メッセージを掲載
→何をしてほしいか
一目で伝わる

トイレや
排水溝に
ごみを
流さないで

- ② 市民視点でのメッセージを掲載
→行政視点に比べ、メッセージを
自分ごととして捉えやすい

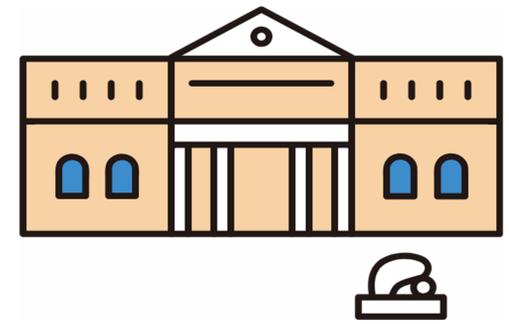
家庭や道路で汚水があふれる

実践者の声



下水施設管理事務所
中津 主幹

「なぜ下水道にいけないものを流してしまうのか」という行動原因を考えて、より効果的なメッセージとなるよう見直しを行いました。ルールの浸透に向けては啓発を継続することが重要であり、引き続きナッジを活用していきたいと思っております。



2. 令和7年度の取組結果

⑥特別展チラシの周知

現状・課題

- 毎年、特別展の広報チラシを小中学校や県内施設に配布しているため、チラシの魅力をさらに高め来館に繋げたい。
- 夏季特別展の開催にあたり、来館の動機づけを高めるためにナッジの視点を取り入れたチラシ作りに取り組んだ。

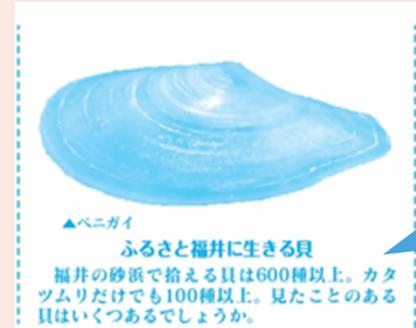
ナッジ実践

遊び心を取り入れたチラシの作成



表面

貝の多様性を視覚的にアピール



裏面1

貝の種類の多さを強調

貝の名前を表す漢字や、よく食べられている貝の殻など、展示の中にはクイズもたくさん。あなたは全部解けますか？ (答えは下にあります)



裏面2

知的好奇心をくすぐるクイズ

ナッジ活用のポイント

インパクト小
カタツムリの種類は100種以上

インパクト大
貝の種類は600種以上
カタツムリだけでも100種以上

ものごとを判断する**参照点**は人それぞれ。
1つの数字を提示するのではなく、**2つの数字を提示**することで、貝の種類の多さがより際立ちます！！



実践者の声

頂いた助言をもとに、重要でない情報を削って掲載する文字を減らす、逆に遊び心を感じさせる内容を取り入れるなど、これまでのものを踏襲しがちだった部分を変更してスマートなチラシを作ることができたように思います。

自然史博物館 有馬 達也

ナッジ検討プロセスモデル

©福井市ナッジ・ユニット

ナッジ検討プロセスモデル (ver.2.0 2024.9作成)



<プロセスモデルの利用にあたって>

- 本プロセスモデルは、現状分析やナッジの検討を行うにあたっての基本的な検討プロセスを示すものです。
- 全7ステップのワークシート形式となっているため、手順に従って検討を行うことで、効果的なナッジを検討することに役立ちます。
- 必要に応じて、7ステップ以外の要素についても検討することが望ましい場合があります。

<倫理性への配慮>

- ナッジは、人間の認知バイアス(惰性・クセ)に着目することから、相手方が「行動を誘導された(操られた)」と感じた場合、ナッジに対して否定的な感情に囚われてしまうおそれがあります。
- このことから、設計したナッジや効果検証手法が倫理的に問題がないか常に確認しておくことが必要です。
- 確認にあたっては、専門家などの第三者に対する相談や下記の倫理チェックリストを活用することが望ましいです。
(参考) 日本版ナッジ・ユニットBEST『ナッジ等の行動インサイトの活用に関わる倫理チェックリスト』

© 福井市ナッジ・ユニット

ナッジ検討プロセスモデル (ver.2.0)

STEP1 目的の明確化 STEP2 **ペルソナの設定** STEP3 行動プロセスマップの作成 STEP4 優先順位の選定 STEP5 介入案の検討 STEP6 介入策の詳細設計 STEP7 効果検証手法の検討

ペルソナを設定してみましょう!

★ナッジは手法が様々あるため、行動内容を促したい対象者に応じて、アプローチ方法が変わってきます。
★ペルソナを考えることで、どういった人のどのような行動を促進したいかが明確になり、より効果的なナッジを探し出すことに役立ちます。

<p>①福井 太郎 (44歳男性)</p> <p>妻、長男(高校生)、長女(中学生)の4人暮らし。大卒な病気をしたことなく、病気にすぐ動かないが、会社内の人間関係によるストレスを抱えている。ストレスがたまるとお酒やたばこ、産生活の疲れが溜まり、大きな病気の心配はないが、深層心理では、「検診を受けて方が一歩かかったら生活費が…」との不安があり検診を躊躇している。</p>	<p>②山本 洋子 (51歳女性)</p> <p>2人の子どもは成人し、夫と二人暮らし。近所のファミリーレストランで扶養範囲内の年収でパート勤務。近所の畑に番子どろが生まれ、孫に会うのが楽しみ。仕事一歩で自分の健康についてほそまで意識したことがない。今年前年大腸がん検診を受けたが、異常はなかったためここ2年間は受けていない。</p>
<p>③山田 一郎 (54歳男性)</p> <p>企業勤め。毎年、職場での健康診断は受診しているが、任意のがん検診は受けていない。特に大腸がん検診に対しては、自宅で採便したときの管理に慣かしさを覚えている。検診の医師に監視されている。</p>	<p>④木田 健治 (64歳男性)</p> <p>独身。高齢の妻と同居。母は要介護状態。会社勤めの時は会社の定期健診にて大腸がん検診を受診していたが、60歳の定年退職後は受診していない。仕事一歩で自分の健康についてほそまで意識したことがない。今年前年大腸がん検診を受けたが、異常はなかったためここ2年間は受けていない。</p>

© 福井市ナッジ・ユニット

ナッジ検討プロセスモデル (ver.2.0)

STEP1 目的の明確化 STEP2 ペルソナの設定 STEP3 **行動プロセスマップの作成** STEP4 優先順位の選定 STEP5 介入案の検討 STEP6 介入策の詳細設計 STEP7 効果検証手法の検討

行動プロセスマップを作成し、「阻害要因」と「促進要因」を検討してみましょう!

★どういった行動をするのか、詳細に書き出して整理してみましょう。
★また、それぞれの行動プロセスに対して、その行動を「阻害する要因」及び「促進する要因」を書き出してみましょう。

<p>①行動/目的が明確</p> <p>○「何をやるか」「何を達成したいのか」が明確</p> <p>○「何をやるか」「何を達成したいのか」が不明</p>	<p>②内容を理解</p> <p>●「この行動はなぜ必要なのか」「この行動はなぜ必要なのか」が不明</p> <p>●「この行動はなぜ必要なのか」「この行動はなぜ必要なのか」が不明</p>	<p>③受診しようと思ふ</p> <p>○「受診しよう」と思ふ</p> <p>○「受診しよう」と思ふ</p>	<p>④会場を決める</p> <p>○会場が近い</p> <p>○会場が遠い</p>	<p>⑤採便容器を受取る</p> <p>○採便容器を受取る</p> <p>○採便容器を受取る</p>	<p>⑥検診費用500円を払う</p> <p>○検診費用500円を払う</p> <p>○検診費用500円を払う</p>	<p>⑦自宅で検便キットを使う</p> <p>○自宅で検便キットを使う</p> <p>○自宅で検便キットを使う</p>	<p>⑧結果を提出</p> <p>○結果を提出</p> <p>○結果を提出</p>
--	---	--	--	--	---	---	---

※影響の大きい要因には●、それ以外の要因には○と大枠でOKな中で、影響の大小の観点から分類してみました

© 福井市ナッジ・ユニット



[無料DLはコチラ]

無料DL可!

ナッジの検討を行う **基本的なプロセス** が網羅されているネ!

全7ステップの手順に従って検討すれば **ナッジができあがるネ!**



福いいネ!くんのことが大好きで いつもそばを離れない相棒犬 **福いいネ!**

福井市プロモーション特命課長 **福いいネ!くん**

おわりに ～ユニットメンバーからのメッセージ～



総合政策課 主査 梅田 佳孝

ナッジの普及活動が3年を迎え、庁内に少しずつ根づいてきた**手応え**を感じています。試行錯誤を重ねる中で、現場の知恵と行動科学をつなぐ実践が広がりました。今後も成果にこだわり**より良い政策づくり**に取り組めます。



経営管理課 主査 荒川 友詞

今年度も庁内外の方々とナッジについて話す機会をいただき、どう活用すればより良い効果が生まれるか議論でき、とても楽しかったです。ナッジをきっかけに楽しみながら**小さな工夫**を重ね、**より良い仕事**をみんなで作っていきましょう。



総合政策課 主査 細江 隆大

たくさんご相談いただきありがとうございました！ナッジは実際にやってみないと効果は分からないことも多いです。
地道に**試行錯誤**と**検証**を繰り返して、精度を高めていく大切さを改めて認識しました！



商工労政課 主事 黒田 千晴

ナッジは**どの部署でも**取り入れやすい手法で、庁内でも徐々に浸透しているのを実感しています。活用事例をヒントに、日々の業務へも少し**視点を変えて**取り組んでみてください。



(一財)地域活性化センター派遣 姉崎 紗也

出向により主体的に関わることはあまりありませんでしたが、**職場でナッジの取組が広がって**おり嬉しいです。来年度は福井に戻るのでナッジの実践と普及に取り組んでいきたいです。



総務省派遣 高橋 彩花

直接参加は叶いませんでしたが、昨年度より**幅広い分野**でナッジが活用され大変喜ばしく思います。これまで取組に携わった方々には、その後どうなったか、振り返っていただくことも有意義ではないかと存じます！



住宅政策課 副主幹 泉 友人

年度後半からユニットの活動に携わらせていただきました。これまでの**当たり前**に**少しの変更**を加えることで、**より良い結果**を得られるこの手法が、さらに多くのみなさんの手助けになればと思います。



福祉総合相談室 主事 山中 大貴

ユニットに入り半年が経ちました。**科学的理論**をベースに、少しの工夫で問題を解決していくナッジの取組にはとても**魅力**を感じています。この報告書を通してそんな魅力が伝わると嬉しいです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！



2026年3月発行

福井市ナッジ・ユニット

